

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 長期鎮静下にある子どもの親の思い
記録から看護上のニーズを検討する -

研究の目的

NICU 入院において、病状・治療上、長期に及ぶ鎮静を余儀なくされることが多々あります。そのほとんどは、親子の対面や十分な関りがされないままに鎮静が施され、気管挿管となる事例です。鎮静下の面会は、いつも同じ姿しか見ることができず、触れても、話しかけても、子どもの反応を感じる事が難しい状況です。そのような時、私たち看護師は、より子どもや親の思いに寄り添った看護を必要とされます。しかし、これまで、長期鎮静下にある子どもの親の思いについての研究報告はありません。私たちは、過去の情報を振り返り、長期鎮静下にある子どもの親の思いに着目することで、看護のあり方を見出し、子どもの親により寄り添った看護が提供できるよう本研究を行うこととしました。

研究実施期間： 実施許可日～2024年12月31日

対象となる方： 2013年4月～2023年12月に弘前大学医学部附属病院 NICU に入院した方のうち、1ヶ月以上の鎮静・気管挿管の状態にあったお子さん。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテや看護記録などの医療者の記録に記載されている情報のうち、月日(2020年4月以前か以降か(コロナ禍により面会規制が生じるため))、出生前診断の有無、出生後診断との相違、出生前入院オリエンテーションの有無、お子さんの基礎情報(出生週数・性別・出生体重・分娩様式・日齢・病名・病状・予後・入院期間・病床経過・合併症)入院日数、鎮静・挿管日数、鎮静剤を開始・終了した日齢、親御さんの基礎情報(年齢・家族構成・妊娠経過・妊娠分娩歴・不妊治療の有無・合併症・母乳分泌・搾乳状況・サポートの有無・就業の有無・自宅の場所)面会回数、1回あたりの面会時間・面会時の様子、タッチングの開始時期・ICの内容やIC時の様子、希望の有無や内容・精神状況・エンジンバラ、カンファレンスの内容について利用します。

得られた情報から、親御さんの思いについて分析し、看護のあり方について検討していきます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	周産母子センター・NICU 高屋敷いくえ 連絡先電話番号：0172-39-5326
-------	--